

保健体育科 指導方法の課題分析と授業改善策

	ア 指導方法の課題分析	イ 具体的な授業改善策	ウ 補充的・発展的な学習指導計画
第一学年	<p>○小学校で学習した内容を活かし、中学校の体育が楽しいと思える授業作りの工夫が必要である。</p> <p>○自己の課題や、その解決策を発見させる指導が不十分である。</p> <p>○体力や運動能力の二極化への対応をする必要がある。</p>	<p>○オリエンテーションを充実させ単元にふさわしい導入を工夫する。</p> <p>○ペアやグループ学習により、互いに助言し合い、課題を見つけ、解決させていく。</p> <p>○単元にふさわしい補強運動を行い、単元に必要な基礎を身に付けさせる。</p>	<p>○拡大プリントや学習資料を工夫する。</p> <p>○ペアやグループ学習で話し合い活動を計画する。</p> <p>○体力テストの結果をふまえ自己の体力強化を目標とした取組を実施する。</p> <p>○TTを活用し、習熟度別指導・個別指導を実施する。</p>
第二学年	<p>○生徒が主体的・協働的に活躍ができる場の設定が必要である。</p> <p>○自分の課題解決の手だてを導く指導の工夫が必要である。</p> <p>○体力や運動能力の二極化への対応する必要がある。</p>	<p>○言語活動を充実させ、生徒が主体的に活動する時間を増やす。</p> <p>○ペアやグループ学習により、互いに助言し合い、課題を解決させていく。</p> <p>○体力テストを振り返らせ、自己の課題を解決するための計画を立て、実施する。</p>	<p>○生徒が主体となり、話し合い活動や発表会を取り入れた活動を援助する。</p> <p>○習熟度別のグループ編成を行うなどして、より高い技能習得ができるように計画する。</p> <p>○体力テストの結果をふまえ自己の体力強化を目標とした取り組みを実施する。</p>
第三学年	<p>○自分やグループの課題解決の具体的改善策が導く指導の工夫が必要である。</p> <p>○体力や運動能力の二極化への対応が必要である。</p> <p>○生涯スポーツに携わっていくための指導の工夫が必要である。</p>	<p>○多くの学習資料の提供やグループ学習によって仲間からの助言を受けるように促す。</p> <p>○体力テストを振り返らせ、自己の課題の解決方法を導き出し、話し合い等により、課題を解決するための方策を深く探究させる。</p> <p>○生徒が主となり、健康・安全に配慮し生涯にわたって運動に親しむ資質や能力の育成を見据えた授業作りを展開する。</p>	<p>○ICTなどの映像・情報機器を活用し、課題解決を導いていく。</p> <p>○生徒が教師役となる授業を考えさせ、さまざまな角度から体を動かす楽しさを実感させる。</p> <p>○男女共修や少人数活動を取り入れ、スポーツを通じた人とのかかわり方を育成する。</p>